

論文の内容の要旨

中国の地域開発と人口都市化・産業発展の研究
—開発経済学・地理経済学の複合的方法論によるアプローチ—

氏 名 邵 永 裕

1. 研究の主旨と手法

本論文は、中国における改革開放と市場経済移行後の人口移動のうち、特に農村からの労働移動と工業化・都市化の関係を考察することによって、地域開発の推進と産業の立地発展による経済成長の成果と都市農村間・諸地域間の経済格差の拡大、さらには人口・資源・環境問題の顕在化の原因を明らかにすることを試みたものである。

分析の視角・方法論としては、まず従来の開発経済学の理論モデルや人口移動の一般理論に依拠しつつ、中国の人口・地域・産業発展の歴史的経緯に留意するとともに、近年注目されている空間＝地理経済学の方法論を用いて、中国の都市化経済の進展と大都市圏における産業集積による地域開発の成果を整理する。その上で軽工業よりも重工業、また内発的発展よりも外資依存を主とする外来型開発による経済成長と地域開発の限界と問題点を明らかにし、それを踏まえて資源・環境制約下におかれている中国の工業化・都市化に関わる今後の政策転換や対応戦略について、批判的に検討する。その際、第11次5ヵ年計画（2006～2010年）の基本方針についても検討し、独自の政策提言を行う。

中国の地域発展に関する研究は最近でこそ活発化してきているとはいえ、これまで地域経済に対する研究はあまり重要視されてこなかった。特に日本の地域経済開発や地域問題に関する膨大な研究蓄積と理論的体系の確立や発展と比べると、巨大な人口規模と多様な民族および広大な国土を持つ中国の地域研究は非常に乏しいと言わざるを得ない状況である。その意味で、本論文は中国の地域研究の不足や遅れに関して、その現状を改善するために少しでも寄与することを目指している。

2. 各部・章の構成と概要

本論文は、あわせて5部計12章から構成されている。第1部（第1～2章）は、本論文全体の「準備研究」として理論的枠組みと分析視角を示している。ここでは、先行研究のサーベイと方法論の提示を行い、それらの中国への適用の可能性と限界を検討している（第1章）。また、中国歴史における地域開発と産業発展および人口移動の状況を、限られた資料を利用して整理し（第2章）、本研究のための歴史的視点を準備する。

第2部（第3～4章）は本論文の「基礎研究」として、まず中国の各行政地域を主とする各種地域の経済発展の現状と格差の状況を検討した（第3章）上で、中国の都市部と農村部における経済発展の不均衡と格差拡大の現状を分析している（第4章）。その中で、特に中国の新体制における農業問題への対応を取り上げ、中国の地域開発問題と人口移動の多くは都市と農村の格差問題に関わっていることを指摘する。

第3部（第5～6章）でも、引き続き「基礎研究」の延長という形で、人口移動の時系列推移（第5章中心に）と最新の国勢調査（2000年）結果に基づく地域間の人口動態や労働力不足問題を取り上げ、地域開発に伴う人口・労働問題の所在を明らかにする。また「少子高齢社会」に入る中国人口構造の変化と社会保障整備の課題も指摘する（第6章）。

第4部（第7～10章）は、本来の意味での地域研究である。ここでは、まず中国の都市化経済の動向と産業集積の進展を分析し（第7章）、そのあと、環渤海地域圏の台頭と中西部などの開発の意義と可能性及び問題点を分析し（第8章）、外資導入を主とする中国の地域開発戦略の実施効果と限界を明らかにする。

第4部の前半（第7～8章）では、都市化経済や産業集積による地域発展の成果のみならず、特定地域への産業・外資の過度な集中による地域不均衡や環境資源の深刻化などの弊害を指摘し、外資指向型の地域開発の限界を明らかにする。これとあわせて、第8章の後に[補論1]を付け加えて、中国における外資プレゼンスの拡大と中国内での外資依存への警戒論調などを取り上げ、雇用拡大効果が限定され、資本・技術における外資への過剰依存の実態と弊害を指摘する。

第4部の後半（第9～10章）では、地域分析に必要不可欠な産業分析を試みている。まず、重工業の3大業種（鉄鋼・石化・自動車）を中心に分析し、その急速な成長の一方で資源、環境、立地、生産過剰、技術未確立などの問題を抱えていることを明らかにする（第9章）。また軽工業における労働集約型の2大業種（繊維とIT産業）を取り上げ（第10章）、その立地上の過度な集中と技術・製品輸出上の対外依存問題などを明らかにする。なお、第4部の最後に[補論2]を付して、繊維産業と石化産業などをめぐる中外貿易摩擦の現状を分析し、その行方を展望する。

最後の第5部（第11～12章）は、本論文の結論編として、これまでの中国の経済発展と地域開発の成果と問題点を整理し、また、今後の対応策の検討と将来への展望をまとめている。第11章では、地域開発や都市化の発展によって顕在化しつつある環境・資源問題を論じている。また同章末の「補論3」で地域的な環境・資源問題を内包する中国の水不足問

題と「南水北調」問題を取り上げている。ここでは、急速に経済発展や地域開発を推進してきた結果、環境破壊と資源問題が深刻さを増しており、水不足問題がこれに追い討ちをかける形で顕在化していること、「西電東送」や「西気（天然ガス）東送」などの複数の地域開発プロジェクトが同時平行的に実施されているように、中国国内での資源配分と地域開発問題は不可分な関係にあり、地域間の均衡発展と資源・環境との共生という問題が今後中国でより先鋭化していくものと指摘している。

終章の第12章では、対策論の検討・提言と新5ヵ年計画期を含む今後の中国の都市化・地域開発と産業発展に関する展望をまとめている。

都市化の推進、産業の発展を図る上で、多大な資源・環境コストを強いられてきた（第11章）中国は、今後も相当高いレベル（7.5%）の経済成長を維持しながら、都市化（05年の43%→10年の47%、年平均4.0%増）と産業発展（GDP単位当りエネルギー消費20%減、汚染物排出量10%減などを前提に）を推進する計画（05～10年）である。その実現のためには、国内での地域間協調と提携促進だけではなくて、国際社会からの協力や国際社会との協調などがなければならず、対外投資活動だけではなくて、環境協力や環境ビジネスの新たな導入も重要な意味を持つことになるであろう。また資源・環境と経済発展の両立を考える上で、中国は基本的に国内資源の有効利用と環境保全事業の推進を優先する必要がある。その意味で、最近の天津滨海新区の開発開放の推進と中部地域振興戦略の実施は沿海と内陸の両面から環境・資源問題を重視した地域開発戦略の新展開であって、大変意義深いと考えられる。しかし、すでに多くの面で「経路依存」的になっている中国では、これまで以上に外資依存的な開発になる恐れがあり、注意が必要である。

3. 本研究の特色と得た知見

本論文による研究上の主な特色と知見は、以下のようにまとめられる。

①これまでの地域研究においては、あまり重要視されてこなかった地域経済研究と人口移動・都市化の研究を関連付けた上で、人口の空間的移動のみならず、人口構造や人口動態の研究も取り上げたこと。

②都市経済や主要産業の発展の現状と各地域における立地展開の状況を注意深く分析し、その発展要因や立地背景、問題点などを指摘したこと、またそれらが地域間格差の重要な要因を形成しているため、地域政策の策定にあたっては産業の立地や都市経済の発展が重要なカギを握ることを究明したこと。

③地域開発と経済発展に密接な関係を持ちながら、比較的取り扱いにくい「資源・環境問題」を敢えて正面から取り上げて、その現状や問題点を分析し、対応策を検討し、切迫しつつある現実問題に関して、批判的に検討し、対策を提言したこと。

④主要な地域開発戦略の実施状況や主要な経済圏の発展状況、および主要産業の発展に関して広範なデータに基づいて分析を行った結果、これまでの中国の地域開発政策における中央・地方政府の指導的役割や外資導入による開発について正反両面の効果を検討する

ことができ、また中国経済発展における地域要因や外来効果を認識できたこと。

⑤外資指向型・圧縮型の工業発展や地域開発は、後発の利益によるキャッチアップ効果が高かったとはいえ、資本や技術面の従属性のみならず、無秩序な外資導入による生産能力の過剰や資源・環境問題に加えて、内外企業間の競争激化や貿易摩擦の増大をもたらし、国内における分業体制や産業の地域的移転システムの確立や地域間の均衡発展にとってマイナスの面が大きくなりつつあること、資源・環境などの問題にとっても大きな死角となりつつあることを強調したこと。

⑥また、④と⑤を通じて、かつて金泳鎬氏が著書『東アジア工業化と世界資本主義』（東洋経済新報社）の中で韓国と東アジアの経済開発を論評したように、中国においても農村の余剰労働力の無制限供給よりも外資の無制限供給が行われているのが実態であり、結局、金氏が指摘したように、地域開発の主役は外資と政府そのものであり、出稼ぎ労働者や地元農民の利益および環境・資源問題がおろそかにされやすいという知見を得たこと。

以上が、本論文の研究上の大きな収穫である。これらは中国の地域開発や地域問題の研究と解決に一助になると信じている。

無論、本論文における研究はあくまで一個人の知識と能力によるものであり、また自ら現地を赴いて調査を実地に行ったものではないためという意味で実証分析に欠けていることなど、不足な点や誤謬等が免れないと思う。諸賢からのご批判とご指導を仰ぎつつ、今後の研究においてこれらの欠点を補っていきたいと願っている。